

第3ブロック研究部

令和7年度 研究主題
遊びの育ちと小学校教育とのつながりを考える
～幼児が夢中になって遊ぶ姿から～

17園で共同研究をしています！

愛珠 銅座 玉造 中大江 桃園 南 九条 鞠 日吉 三軒家西
日東 立葉 粉浜 住吉 墨江 玉出 天下茶屋

6月研究部会 令和7年6月18日(水) 日吉幼稚園

西区 日吉幼稚園の研究保育に参加し、研究討議を行いました。幼児が夢中になって遊んでいる姿や遊びの中で育っているものはどのようなものか考え、共有しました。

【研究討議の視点】

- 視点① 夢中になって遊んでいる姿はどのようなものか
- 視点② 遊びの中で育っているものはどのようなものか

「ようちえんのおにわ」で体を動かして遊ぶ（遊戯室）

視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・「ようちえんのおにわ」のイメージをもちながら、安心して遊んでいる姿
- ・巧技台でクモの巣や虫を目標にして飛び、友達とやりとりしながら遊んでいる姿
- ・直線と点の印の道のところを、まっすぐ行くだけでなく、ジグザグに行ったり、片足で跳んだり、自分なりに工夫しているいろいろな行き方をしている姿
- ・3歳児が5歳児の真似をして挑戦している姿
- ・5歳児が異年齢児に自然に優しく関わっている姿
- ・順番を守って遊んでいる姿



視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・幼稚園にいる虫や植物への興味関心
- ・友達と一緒につくれたり飾ったりして、イメージを共有して遊ぶ楽しさ
- ・友達とどこまで跳んだかなどを伝え合い、認め合おうとする気持ち
- ・どこまで跳べるかなど、自分なりに目標をもって挑戦する気持ち
- ・いろいろな体の動かし方、使い方
- ・できただことで自信をもち、次の目標をもって遊びを続ける意欲や自己肯定感
- ・繰り返し遊ぶ楽しさや「できるかも！」「やってみよう」とする意欲
- ・これまでの遊びの経験を生かして、遊びを工夫しようとする気持ち
- ・異年齢での関わりの中で「真似してみよう」「やってみたい」という憧れ
- ・相手の立場になって寄り添おうとする優しさ

体操やダンスをする

視点① <夢中になって遊んでいる姿>

- ・自分で踊りたい曲を選ぶ姿
- ・楽器の鳴らし方を変えながら踊って楽しむ姿
- ・自分の踊りたい曲を待つ姿
- ・ルールを守って遊ぶ姿
- ・友達と一緒に顔を見合わせながら踊る姿
- ・振り返りで「全部が楽しかった」と話す姿



視点② <遊びの中で育っているもの>

- ・自由に存分に体を動かす主体性
- ・曲に合わせて踊るリズム感
- ・踊る順番や約束を守る規範意識
- ・友達と共に活動する楽しさ
- ・お客様に見てもらうという意識から自分を客観視する気持ちや自信や自己肯定感

ダンゴムシになって遊ぶ

視点① <夢中になって遊んでいる姿>

- ・ダンゴムシの触覚の面をつけて、ダンゴムシになりきっている姿
- ・這ったり、転がったり、丸くなったりしている姿
- ・草や葉っぱなど隠れる場所を自分なりに考えて探し、自ら隠れている姿
- ・教師に見つけてもらうことを楽しんでいる姿



視点② <遊びの中で育っているもの>

- ・イメージしたものになりきって遊ぶ表現力
- ・転がったり這ったりして遊ぶことで育つ体幹やバランス感覚
- ・ダンゴムシになっているボディイメージ

おてがみごっこをする

視点① <夢中になって遊んでいる姿>

- ・折り紙の折り方を見て、分からぬときには、5歳児や先生に教えてもらう姿
- ・自分のお手紙バックを持ち、手紙をかいたり配ったりする姿
- ・相手のことを思い浮かべて手紙をかく姿
- ・いろいろな場にあるポストに手紙を入れたり、先生に手紙を渡しに行ったりする姿

視点② <遊びの中で育っているもの>

- ・手順を見ながら折り紙を折る手先の器用さ
- ・最後まで折り紙を折ってやり抜こうとする根気強さ
- ・やりたいことを見つけてやってみようとしたり目的をもって遊んだりする気持ち
- ・異年齢の友達に手紙をかいしたり、渡しに行ったりするなど、人と関わる楽しさ
- ・思っていることを伝えようとする自己表現の意欲
- ・手紙を渡し喜んでもらった経験や、手紙をもらって嬉しかった経験から感じる手紙を大切に扱う気持ち



劇場ごっこをする

視点① <夢中になって遊んでいる姿>

- ・曲を口ずさんだりリズムにのったりしながら遊んでいる姿
- ・子ども同士でより遊びが楽しくなるための工夫をしている姿
- ・友達と顔や様子を見合いながら、話を進めることを楽しんでいる姿
- ・幕の後ろで子ども同士でも「しー」「今やで」と声をかけ合っている姿
- ・自分たちで役割分担しながら遊んでいる姿
- ・自分たちでつくったペーパーサートを動かすことを楽しんでいる姿
- ・「また見てね」「もう1回やりたい」と繰り返し遊んでいる姿
- ・ナレーターの幼児が、お客様とのやり取りを楽しんでいる姿

<視点②遊びの中で育っているものはどのようなものか>

- ・曲想やリズムの違いを感じ、表現する楽しさ
- ・友達の話を聴き、受け止め、一緒に遊びを進める楽しさ
- ・子ども同士で考えたり工夫したりする創造力
- ・お客様に伝わるような言葉を選んで話す表現力
- ・アオムシが成長するペーパーサートをつくる中での大きさの違いへの気付き
- ・つくったものや使ったものを大事にする気持ち
- ・必要なものをかいたりつくったりして自分の思いを実現する力
- ・自分でつくったものを使って表現する楽しさ
- ・本物に見えるように工夫してつくる豊かな創造力
- ・お客様に見てもらったり、認めてもらったりすることで感じる喜びや満足感
- ・自分が表現していることを見てもらう嬉しさ



指導講評

大阪市教育委員会事務局指導部初等・中学校教育担当 総括指導主事

- ・幼児は、遊びの中で、自ら感じたり、気付いたり、考えたり、試したりして、情操や意欲を培っている。その中で学びを深めていくことが、幼稚園教育において育みたい資質能力を育むことに繋がる。幼児期に培われた資質能力は小学校教育において育まれる資質能力の基盤となる。
- ・幼児の育ちは教師の教育的意図をもった働きかけがあるからこそ促されるものである。教師は、幼児がどのように生活し、どのように環境と関わっているかを探り、一人一人の育ちに応じた保育を行うことが大切である。

分かったこと

- ・幼児が夢中になって遊ぶ姿から幼児の育ちを読みとり、育ちについて討議したことで、ひとつつの活動の中に様々な育ちがあることが分かった。また、多くの先生と意見交流することで、幼児の遊びの見とり方を学ぶことができた。
- ・幼児の育ちを読みとっていくことが、「なぜそのような姿になったのか」を探ることにつながった。育ちを読みとることが、幼児理解につながっていくことが分かった。。
- ・幼児が夢中になって遊ぶ中に、多くの育ちがあった。幼児期に培われた資質能力が、小学校教育につながっていくことを踏まえ、教師は、幼児期にふさわしい生活を送る中での育ちを大切にしていく必要がある。